

## 主体的・対話的で深い学びの実現 6則

埼玉の子どもたちを「人財」として輝かせるために！



毎日の授業では、子供たちが「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力等」や「学びに向かう力・人間性等」など、これからの時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、教員が変容(伸び)を見取ることが大切です。そのためには、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が有効です。…あなたの授業を見直してみませんか？



変容によって…

- ・ 機械的に記憶するよりも意義や意味を考えることで、より一層、知識や技能の定着を図ることができる。→知識・技能の習得
- ・ 自分で課題を見付け、自ら学び、考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力が向上する。→思考力・判断力・表現力等の育成
- ・ 主体性に加えて、チームワークや優しさなど、人間性が向上する。→学びに向かう力・人間性等の涵養

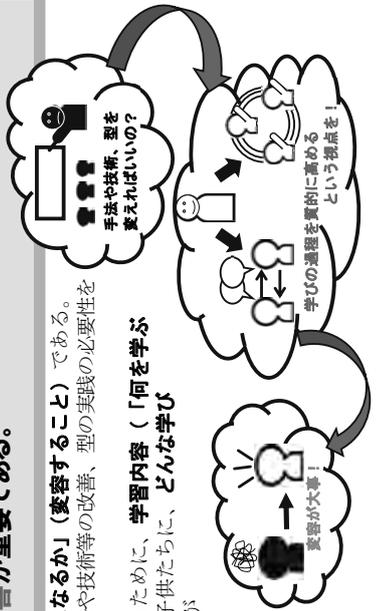
### 1. 【主体的・対話的で深い学びって何？】

- ・ 主体的な学び：学習活動を見直し、振り返り、課題を解決していこうとすること
- ・ 対話的な学び：学び合い等、他者と協働すること等によって、自己の考えを広げ深めること
- ・ 深い学び：見方・考え方を働かせて、より深く理解したり考えを形成したりすること

### 2. 【何のために、主体的・対話的で深い学びの実現を？】

「何ができるようになるか」という子供たちに必要な資質・能力を育成するため。そのためには、「何を学ぶか」という学習内容と、「どのように学ぶか」という学びの過程を組み立てていく授業改善が重要である。

- ・ 目指すのは、「何ができるようになるか」(変容すること)である。
- ・ 一斉指導やグループ学習等の手法や技術等の改善、型の実践の必要性を考えるとこういうことではない。
- ・ 子供たちに資質・能力を育成するために、学習内容(「何を学ぶか」)を明確にし、目の前にいる子供たちに、どんな学びの過程(「どのように学ぶか」)がふさわしいのかを見極めることが大切である。



### 3. 【「どのように学ぶか」をいま一度見直す】

子供たちが学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付けるために、特に、「どのように学ぶか」という学びの過程に着目して、授業の質を高めること。

- ・ 資質・能力の育成に向けて、子供たち一人一人の興味や関心、発達や学習の課題等を踏まえ、それぞれの個性に応じた学びを引き出していく上で、特に、主体的・対話的で深い学びの視点を取らせた「どのように学ぶか」という学びの過程について着目し、授業の工夫・改善に取り組みすることが重要である。

### 4. 【変容を見取ること】

「何ができるようになるか」という視点で、教員は子供たちの変容(伸び)を見取ること。

- ・ 子供たち一人一人が資質・能力を身に付けて、何ができるようになったかという変容(伸び)を子供たち自らが実感し、教員もその変容(伸び)を見取れるようにすることが大切である。

### 5. 【信頼関係に基づき学級づくりを】

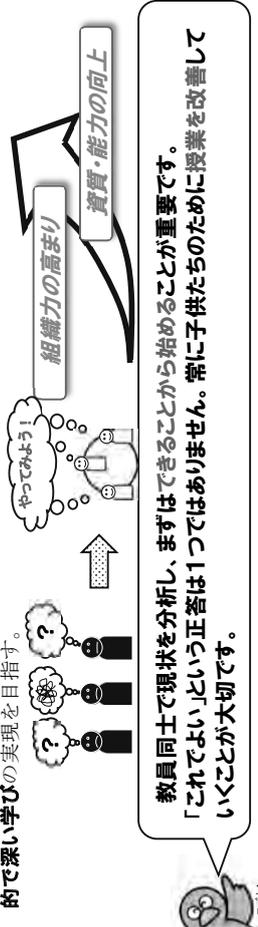
主体的・対話的で深い学びを目指した授業と、信頼関係に基づき学級づくりを「車の両輪」として進めていくこと。

- ・ 学級は、子供たちが日々の生活を共にする基礎的な集団であり、学習活動や学校生活の基盤となることから、担任をはじめとした全教員と子供たちの信頼関係及び子供たち相互の好ましい人間関係づくりが重要である。
- ・ 子供たち一人一人の発達を踏まえた上で、学級での人間関係を豊かにし、コミュニケーション能力を高めることで、各教科等の授業において主体的・対話的で深い学びの実現につながり、さらに学級づくりが充実する。

### 6. 【学び続ける教員集団であるために】

授業改善を目指して、教員同士で、深く考え、学びを通じて変容すること。

- ・ 教員が子供たちに求められる資質・能力を育むために、必要な学びの在り方を絶え間なく考え、教員同士で学び合うことで、様々な観点から授業の工夫・改善について議論を重ね、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。





私の学校・学級では

中学校 令和2年度版

## こんな取組が効果的でした！



### 授業では、こんな工夫をして、主体的・対話的で深い学びを実現しました！

- 生徒の疑問から本時の課題を設定しました。
- 「なぜ~だろうか」と、疑問形式の課題を設定しました。
- 課題解決の前に予想、見通しをもたせました。
- 生徒が活動や作業をする際は制限時間を示しました。
- 基礎と応用の2種類の課題を準備し、生徒が自分で選べるようにしました。

- 活動の目的や内容に応じて2~4人の班による座席編成にしました。
- 全教科でグループ学習や発表の仕方など統一しました。
- 生徒同士で説明し、伝え合う活動を単元に1回以上行いました。
- 単元や学習内容に応じて、ジグソー法を取り入れました。
- 机間指導の時にたくさん声をかけるようにしました。



- 単元のはじめの時間に単元の流れを説明するようになりました。
- 単元テスト予告版を事前に配布し、満点者が多数出るようにしました。
- 授業道具の忘れ物（教科書・プリント等）は、何らかの形で渡し、学習に支障がないようにしました。
- 提出物にしっかりと取り組ませるために、声をかけ、期間の再設定等を行なうが、提出するまで見届けました。
- デジタル教科書やタブレットなどICTを活用しました。

- 考えを言葉で書かせるときは、理由を明らかにさせました。
- 毎時間生徒が自分の言葉で振り返りを書くようにしました。
- 生徒が考えたまとめを発表し合い、検討する機会を設けました。
- 学んだことやそこから考えたことをノートに記述させました。
- よいノートを紹介し、共有するようにはしました。
- 大切なこと、覚えるべきことは何度も復唱させました。



### 授業以外にも、先生方で相談して、こんな工夫をしました！

- 学校全体で、自習の時間を作らないようにしました。
- 週に1コマ、教科担当者の空き時間をそろえ、教科部会で情報交換をしました。
- 公開授業を学年で行い、担当教科以外の授業を見る機会を多くしました。
- 小学校と中学校でそれぞれ授業を見合うとともに、取組を紹介しました。
- 担当教科外の授業を参観するときは、教員の声かけに対する生徒の反応の視点から見られるようにしました。

- 学習計画を立てさせて、チェックと励ましを行うとともに、よい計画表を紹介しました。
- 家庭学習プリントとして、県学調復習シートとコバトン問題集を活用しました。
- 家庭学習ノートを作り、1日1ページの学習と日記を習慣づけました。
- 県学調の結果分析を基に、学年、学級、生徒個人の強みや課題を明確にしました。

### 日常的なことや学級経営などでも、こんなことを心がけました！



- 日頃から笑顔が心がけました。
- 「指示」よりも「お願い」と「感謝」を心がけました。
- 授業でのよいエピソードをその学級の担任に伝えたり、自分の学級のことを教科担当の先生から聞いたりしました。
- 季節や行事、学習状況に合わせたタイムリーな掲示をしました。
- 無言ではない清掃で、生徒に声をかけながら手を動かしました。
- 無言清掃をしました。

- 行事ごとに振り返りを書かせ、生徒の活躍を紹介しました。
- 帰りの会でクラスの課題や良かった点について生徒が発表する時間を設けました。
- 学級通信に生徒が書いたものを多く掲載しました。
- 保護者や地域から寄せられた意見を学校だよりの裏面に掲載したり、行事後の学級通信に保護者の返信欄を設けたりして、家庭・地域の声を反映しました。

### よい取組を、みんなで共有しましょう！

※本資料は、実践事例を紹介したものです。各学校での取組の参考にしてください。



## 「授業力」自己診断シート」で授業力の向上



子供たちの学力向上に不可欠な教師の「授業力」の向上のためには、教師一人一人の授業の状況や在り方について把握し、課題を明らかにし、改善していくことが必要です。それでは、「授業力」をどのように把握すればよいのでしょうか。そこで、県立総合教育センターでは、「授業力」自己診断シート」を作成し、研修会等を通じて提供しています。

この「授業力」自己診断シート」は、一つの例であり、各学校、各教科等の実情に応じて適宜修正して活用いただくものです。普段の授業を振り返り、授業を改善するために御活用ください。ここでは、次の4つの要素に分けて解説していきます。

- <要素 1> 学習環境を整える力及び学びに向かう学習集団を形成する力
- <要素 2> 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を構想する力
- <要素 3> 授業を実践する力
- <要素 4> 学習評価の充実

※なお、この図解は4要素を捉え直したものです。4つの要素は、お互いにリンクし合っています。



## 教師の「授業力」向上で学力向上を

教師は授業で勝負する

学力の向上には教師の「授業力」の向上が不可欠です。新たに告示された次期学習指導要領は、学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていききたい。

『文部科学省 新学習指導要領 改訂に込められた思い』  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1383986.htm#section3](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1383986.htm#section3)

という思いを込めて改訂されました。児童生徒一人一人が、そのような資質・能力を身に付けられるように以下の点について言及しています。

今回の改訂においては、次項のとおり、言語能力、情報活用能力、問題発見・問題解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や、豊かな人生の実現や災害等を乗り越えて次代の社会を形成することにに向けた現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を、教科等横断的な視点に立って育成することを規定している。

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』平成29年7月 46頁

また、各教科等においても、当該教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿って再整理し、当該教科等の目標及び内容として明確にしている。

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編』平成29年7月 46頁

とあります。

### 学習の基盤となる資質・能力

- ① 言語能力
- ② 情報活用能力
- ③ 問題発見・解決能力等

どのような資質・能力の育成を目指すのか

- ① 知識及び技能が習得されるようにすること。
- ② 思考力、判断力、表現力等を育成すること。
- ③ 学びに向かう力、人間性を涵養すること。



# 「授業力」自己診断シート

分類	具体項目例	
<b>学びに向かう学習集団を形成する力</b> <small>学習環境を整える力及び</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒に、笑顔で快活に挨拶をしたり話しかけたりしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒の意見や提案に耳を傾けている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒に学習活動に適した身なりを徹底させている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒の着席状況を確認してから授業を始めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 開始時刻と終了時刻を守って授業を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習の準備を整えさせてから授業を始めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 発言の仕方や話の聞き方などを、適宜教えている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全員の聞く姿勢を整え、集中させてから、明瞭・簡潔で具体的な指示を出している。</li> <li><input type="checkbox"/> 教師自らも、教室での言葉遣いに配慮している。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒一人一人が存在感と安心感を実感でき、互いに認め合う人間関係を構築させている。</li> <li><input type="checkbox"/> 校内環境美化に努め、学びに適した環境を整えている。</li> <li><input type="checkbox"/> 計画的・意図的に掲示物を配置している。</li> <li><input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインに配慮し、全員が授業に参加できる安心安全な環境を整備している。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習集団における児童生徒の人間関係を把握している。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒と積極的かつ適切にコミュニケーションをとり、良い点を褒めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習指導及び生徒指導上の配慮等を要する児童生徒を理解し、個に応じたきめ細かな指導をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒の提出物や作品などに適切な評価のコメントを書き入れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査、埼玉県学力・学習状況調査の結果等も踏まえ、クラスやひとりひとりの学習状況を把握している。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border-bottom: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin-bottom: 5px;">合</div> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin-bottom: 5px;">5 3</div> </div>  <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin-bottom: 5px;">1 8</div> </div>
<b>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け</b> <small>授業を構想する力</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 研修等で得た教科等に関する専門的な知識を生かし、教材研究をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学年会や教科部会などで教科指導に関する情報交換等を行い、授業に生かしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 地域の人的・物的教育資源を積極的に授業で活用している。</li> <li><input type="checkbox"/> 単元全体を見通し、本時のねらいを設定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 単元のねらいを達成するため、適切に教材研究を行い、指導内容を構成し、時間配分している。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習のねらいの達成につながる発問を計画している。</li> <li><input type="checkbox"/> 単元全体の見通しや本時の学習のねらいを、児童生徒が理解できるように工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、効果的な学習形態を計画している。 (個別、ペア学習、グループ学習、協調学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、補充的な学習、発展的な学習等)</li> <li><input type="checkbox"/> 知識及び技能の確実な習得のため、児童生徒の主体性を引き出すなどの工夫をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> それぞれの教科の特性を生かし、それぞれの教科の見方・考え方を働かせる学習内容を工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 学びを深めるため、児童生徒が考える場面と教師が教える場面を適切に組み立てている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒自身が問題の発見や解決をするような思考力・判断力・表現力の育成につながる、隣の児童生徒と話し合いをするような活動を取り入れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 思いや考えを基に、意味や価値を創り出す活動を設定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童の興味関心や主体性の育成のため、児童生徒が学習課題や学習活動を選択する機会を設けている。</li> <li><input type="checkbox"/> 情報を活用する力の育成につながる調べ学習などの活動を授業に取り入れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 育成を目指す資質・能力を明確にしながら、授業に教科横断的な視点を取り入れている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学校図書館を、読書センター・学習センター・情報センターとして利活用している。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin-bottom: 5px;">1 7</div> </div>
<b>授業を実践する力</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 声の大きさや話す速さを適切にし、分かりやすい説明をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒の反応や変容に気付き、質問や意見を取り上げ、授業展開の中に生かしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒の活動場面を確保し、主体的に学習に取り組むことで達成感を得られるよう配慮している。</li> <li><input type="checkbox"/> 自力解決の場面やつぶやきなどから、つまずきを早期に発見し、児童生徒一人一人に適切な指導を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒に必要な感のある話し合いの場面を設定している。</li> <li><input type="checkbox"/> 課題や問いについて考えさせる時間やノートにまとめさせる時間を確保している。</li> <li><input type="checkbox"/> ICT機器を学習で効果的に活用している。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒の多様な考えを引き出す等、思考を深める発問をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 発問に対して児童生徒が思考する時間を適切に確保している。</li> <li><input type="checkbox"/> 板書の内容は、学習の流れや思考の流れが分かりやすくまとめられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 漢字の筆順や文字の大きさに気を付けて、丁寧な文字で板書している。(ユニバーサルデザインの視点を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> 本時のねらいと正対するまとめをしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒が本時に学んだ内容を理解し、次の課題につながるような学習の振り返りをさせている。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin-bottom: 5px;">1 3</div> </div>
<b>学習評価の充実</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒の学習内容について、評価の観点に照らして評価を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 児童生徒のよい点や可能性、進歩の状況について個人内評価を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習意欲の向上のため、授業内で児童生徒が相互評価や自己評価を行うように工夫している。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、事前に教師同士で検討するなどして明確化している。</li> <li><input type="checkbox"/> 学習評価等を活用し、指導計画が適切であったかを適宜振り返り、授業を改善している。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin-bottom: 5px;">5</div> </div>

※ 各学校でチェック項目を選択するなど、各学校の状況に合うように変更してご使用ください。チェックボックスの数字も変更してご使用ください。